

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

東海村村松 2401-2
oona_toukai@yahoo.co.jp
電話・FAX 029-284-0761

川根への産廃焼却施設設置申請問題で知事

“地元の意見を尊重してきた。注意しながらみていく”

8月9日、東海村議会議員会が毎年行っている「知事との県政懇談会」がひらかれ、日本共産党派から永井一郎議員とともに参加しました。

知事から県政の課題などの説明があった後、質疑の時間で、永井議員は「川根地区への産廃焼却施設設置申請問題で、地元住民、議会、村すべてにおいて反対の意を表明し県にあげている。許可権限は知事にあるが、絶対に認めないでほしい」と意見を述べました。

これに対し知事は、「これまでも地元の意見を尊重することを重視してきた。今後注意しながらみていきたい」と答えました。設置予定地が工業専用地域となっはいますが、このような状況の下では、業者が設置について断念するまで運動を強めることが大切と感じました。

深刻な医師確保問題で知事

“増えない方がいいと考える人たちがいる。大学の定数拡大が重要”

私（大名みえ子）は、医師不足の問題で「茨城での医師不足解決のうえで、ネックになっているのは何であるとお考えか」と聞きました。知事は、「医師不足のため、どこの県でも医師の確保に苦労している。しかし、医師が増えない方がいいと考えるさまざまな立場の人がいる。根本的には医学生数の定数拡大が重要と考える」と回答しました。

医師不足で困ってしまうのは県民です。特に小児科・産婦人科医師が不足すると、安心して子ども産み育てることができなくなります。医師の負担が過重になってきていることなど、問題は深刻です。行政は、「増えない方がいい」と考える人たちに屈服することなく、県民の立場に必要な予算措置もおこない、医師の養成と確保にとりくむべきです。また私たち住民も、行政への働きかけとともに、医師会などへの働きかけもおこない、医療が地域住民とともに住民の命と健康をまもっていく、地域のための医療となるよう取り組んでいくことが重要と感じました。

【お知らせ】

しんぶん赤旗 日刊紙月2900円
日曜版月 800円読後の感想、ご意見
をお待ちしています

*ご家族みんなで楽しみ、社会の動きがよくわかります。ぜひご購入ください。

バックナンバーは、日本共産党茨城北部地区委員会のホームページでお読みいただけます。

<http://wwwjcp-netjp/ibahoku/>